



この号の内容

1. クラウドファンディングへのご支援をお願いします
2. 2022年度生の選抜審査を進めています
3. 先輩後輩交流会をオンライン開催しました

Kyoto iUP 留学生の声
Vol.4

1. クラウドファンディングへのご支援をお願いします

Kyoto iUP の取組をより多くの方々に知っていただき、優秀な留学生の受入拡充と就学支援を推進すべく、クラウドファンディングプロジェクトを開始しました。公開期間は 3月31日(木) までです。資金は Kyoto iUP 留学生へ支給する学部課程奨学金に充当します。

これまでも京都大学基金の一つとしての「Kyoto iUP 留学生支援基金」や、将来の日本社会を国内外から支える人材を共同で育成することを目的とした「Kyoto iUP 留学生育成コンソーシアム」の取組などにより、皆さまへご理解・ご支援を呼びかけてまいりました。クラウドファンディングを活用することで、Kyoto iUP の趣旨に共感・賛同いただける方々との新たな繋がり・ネットワークを構築し、活動を一層盛り上げていきたいと考えています。

支援いただいた方には、留学生からの直筆メッセージや交流会へのご招待など、様々なリターンをご用意しております。是非とも関係者の方々へ周知いただきますとともに、皆さまからの温かいご支援をよろしくごお願い申し上げます。

ご支援はこちらから↓



<https://readyfor.jp/projects/kyoto-iup-2021>

【プロジェクト名】

「日本の心と国際的な感性。

日本で学び、羽ばたく留学生の後押しを」

<https://readyfor.jp/projects/kyoto-iup-2021>

【最終目標金額】

727万円（第一目標金額は200万円）

【公開期間】

2022年2月14日(月) 10時～3月31日(木) 23時

【資金使途】

2021年10月に予備教育課程に入学した Kyoto iUP 留学生1名に係る学部課程4年間分の奨学金

日本の心と国際的な感性。日本で学び、羽ばたく留学生の後押しを



クラウドファンディングサービス
「READYFOR」を活用

本学出身のウズビ・サコ 京都精華大学学長からクラウドファンディングへの応援メッセージをいただきました！



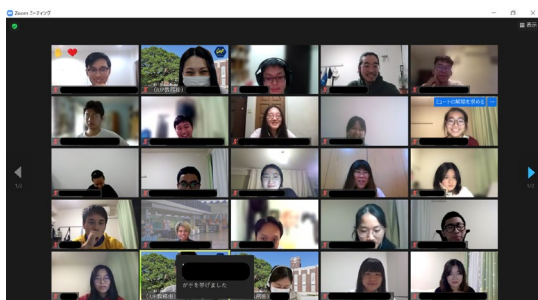
私が研究生として京都大学に入学したのは1991年10月のことです。研究室の人間関係や社会の中で鍛えられ、専攻の学問以外に、コミュニケーション能力や多くの人と協働できる力をつけることができたと思っています。当時、京都大学で学びたくとも学ぶ機会を得られず涙をのんだ留学生がたくさんいたはず。より多くの世界の若者が日本で高い技術と知識を学び、その成果でもって自国の発展に寄与し、また日本でも活躍することが望ましい。Kyoto iUP はそのような視点に立ち、意識の高い若者たちに成長のチャンスを与えてください。京都大学では学問だけではなく、人間としての成長を学生の教育の重要な軸としています。多様な価値観をもつ学生が相互に刺激し合い、違いをも認め合いながら成長することが共生社会形成の条件となります。真のグローバル人材を一人でも多く Kyoto iUP から輩出できるよう、留学生受け入れへのご支援をお願いしたいと思います。

49の国・地域から
520名の出願がありました

2. 2022年度生の選抜審査を進めています

2022年10月に予備教育履修生として受け入れる Kyoto iUP 生の出願受付を2021年12月6日に締め切りました。昨年度の482名を上回る **520名**の出願者に対して書面審査を実施し、合格者には2022年2月28日から3月11日まで面接審査を実施します。オンラインでの面接実施となりますが、優秀で熱意溢れる学生に出会えることを楽しみにしています。

3. 先輩後輩交流会をオンライン開催しました



和やかな参加者紹介の様子

2021年12月23日に、Kyoto iUP 初の企画である「先輩後輩交流会」をオンラインで開催しました。コロナ禍で渡日できない予備教育履修生の不安を少しでも和らげること、また現在学部課程で学んでいる1回生に先輩としての自覚を持ってもらい、みんなで後輩をサポートしていく雰囲気を作ることを目的とした企画です。文系・理系の2グループに分かれたフリートークでは1回生が進行役を務め、自身の渡日体験、予備教育達成度確認試験や学部課程進学のための Qualifying Test に向けた対策などについて語りました。予備教育履修生はここでしか聞けない先輩の声に耳を傾け、不安や悩みを相談していました。

終了後のアンケートでは、「次回は対面で交流したい」「一緒にスポーツやゲームを楽しみたい」という声がありました。全員が渡日できた暁には、様々な企画を用意して対面で交流会を開催したいと思います。

Kyoto iUP 留学生の声 Vol.4

DING, Meiran 理学部理学科1回生(中国)



「日本語で日本語を学ぶ」ことは初めての経験だったので最初は戸惑いでしたが、コンビニエンスストアなどで意識して日本語を使ったり、周りの人たちがどのように日本語を話しているかを参考にしたりして、頑張って学習を進めました。今では日常生活やクラブ活動で、スムーズに日本語でやりとりできるようになり、自信ができました。

Kyoto iUP Newsletter

発行 京都大学国際高等教育院吉田カレッジオフィス

連絡先 吉田カレッジオフィス事務室

E-mail : yc-sokatsu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



Kyoto iUP_Kyoto University



Kyoto iUP



<http://www.iup.kyoto-u.ac.jp/>